

がんばる岩手の企業と人を応援！(財)いわて産業振興センター広報誌

産業  
情報

いわて

Vol.

107

2011.FEB  
平成23年2月10日

月刊

岩手から  
より良く生きる  
インフラを発信！

特集

2 岩手の底デカラ

東日本機電開発株式会社

お知らせ

- 4 ET2010 (組込み総合技術展)  
セミコン・ジャパン2010
- 5 起業家支援セミナー  
第2回・商品化プロデュース事業を開催
- 6 平成22年度 下請取引条件調査結果
- 8 賛助会員告知コーナー



岩手の

底

# チカラ

支援企業紹介

岩手県盛岡市

東日本機電開発株式会社



水道事業などで利用される制御盤の設計・製造を行う東日本機電開発株式会社。盛岡市手代森の工場では10名の社員が組み立て作業に取り組んでいる

岩手県全市町村で上下水道コントロールシステムを納入、岩手の水道事業を支える盛岡市の東日本機電開発株式会社。近年、環境事業にも参入し、「壊れた土をよみがえらせる」土壌改良に取り組む同社の、事業融合の可能性と展望を紹介します。

## 公共事業での大きなシェアを獲得してきた取り組みと特徴

人々の生活に欠かせない水。蛇口をひねれば水が出てくるという、便利な暮らしを支えているのが、盛岡市の東日本機電開発株式会社。同社では水道事業における、コントロールシステムの設計・製造を行っている。岩手県内の全市町村をはじめ、北海道・東北各地に至るまでの広いエリアの水道事業で、水質や流量、pH値などの管理を行う同社のコントロールシステムが採用されている。

「機械があれば、電気コントロールを行う必要があります」と語る水戸谷社長。「機械を動かすための機械」が機電事業部門の商品。大きなシェアをほこる水道事業のほかにも、東北新幹線の融雪装置の制御盤や、松川地熱発電所の計装盤、安比高原スキー場の夜間照明遠隔操作盤など、同社のコントロールシステムは様々な場所で暮らしを支えている。

同社では、ひとつの仕事において、打ち合わせから納品、アフターまでを1人が責任を

持って担当する方式を採用。本社のある盛岡は、北東北をはじめとする各地の納品先へ、およそ2時間でアクセス可能な場所。システムに問題が起きた場合など、すぐに対応できる機動力と、システム担当者がいるという安心感からメーカーの信頼を得てシェアを拡大してきた。

## 人材育成が命！独自の取り組みが活発なコミュニケーションを促進

産業振興センターの「ものづくりリーダー研修」に、社長はもとよりほかの社員も参加するなど、人材育成に力を入れている東日本機電株式会社。毎年欠かさず新卒採用を行うことや、再雇用制度の導入などにもその理念が現れている。なかでも、7月の決算にあわせて毎年行われる、1年の目標を発表する会は社員からも好評。社員全員が、これまでの反省をふまえた今後1年の目標を色紙に書いて発表する。色紙は社内に掲示され、いつでも見て自分の目標を確認できる仕組みだ。「自

Power of business human in Iwate

電機屋が土づくり!? 意外な事業融合がもたらす  
クオリティ・オブ・ライフの新たな可能性

今月の表紙

東日本機電開発株式会社の工場にて、北関東に納入される水道コントロール盤の組み立て作業を行う様子。同社の商品は、すべてが設置場所などにあわせてカスタム製造された完全オリジナル品。

分のことを周りに伝える取り組み。目標を明確にすることで改めて仕事のやりがいを持つことができると思います」と水戸谷社長。「ここでは営業も現場の工場も、コミュニケーションができる人材を育てる環境を大切にしています」とこやかに語る。

エンジニアの質が命といわれる「盤業界」。営業以外の社員も、現場に出向いて現地とのコミュニケーションを図るなど、独自の取り組みを続けている。技術の向上のみならず、よい人材を育てるための取り組みに余念がない。

## 機械づくりも土づくりも 「より良く生きる」インフラ整備

東日本機電開発株式会社における、もうひとつの柱が環境事業だ。「健土・健食・健民」をテーマに掲げ、農畜産の分野で土づくりを主に事業を展開している。なぜ電機屋が農業なのか。そこには同社の大きな理念がある。「機械を動かすためのシステム、それと、人間が生きていくための土づくり。ここには共通の社会的意義があります。どちらも人間が生きていくうえで欠かせないファクターですから」と水戸谷社長。機械も土づくりも、広い意味では人間が生きていくためのインフラ整備であり、そこに同社の存在価値があると考えている。



### 東日本機電開発株式会社

【代表取締役】水戸谷剛

【所在地】岩手県盛岡市手代森 5-19-10

【電話】019-675-2277

【FAX】019-675-2288

【URL】<http://www.kidenkaiatsu.co.jp/>

### 代表取締役社長 水戸谷 剛

1971年岩手県盛岡市生まれ。栃木県の大学を卒業後、(株)荏原電産に入社。夜間学校で電気工学を学ぶうち、工場勤務から設計部の開発担当に異動。2006年東日本機電開発(株)入社、08年に代表取締役就任。

当初は家庭用の生ゴミ処理機の販売・メンテナンスから始めた環境事業だが、「土が壊れ、人の健康を害している」との提言に出会い、96年頃より土壌改良への取り組みが始まった。「農閑期における、土をよみがえらせるためのプロセスを作り直す」。これは、同社の非繁忙期とも重なり、今では機電事業と並ぶ柱に成長している。

現在は、畜産・農業における偏った生産などによる「壊れた土」を改良するための、家畜糞尿処理システムや肥料の開発、社内の農業指導員による農業コンサル事業を展開。今後は全国的な展開も視野に入れ、流通・販売にも力を入れていく予定だという同社。岩手の企業の、「日本の土を変える取り組み」に、今後も注目したい。

< P.3写真 >

1	4	5
2	3	6

1. 業務を問わず人材育成に力を入れる東日本機電開発(株)では、社員同士のコミュニケーションも活発
2. 環境事業部門において開発中の高設栽培システム。作物が自ら水を吸い上げる力を利用している
3. 社員全員が1年間の目標をしたための色紙を掲示。個性的な書き込みがずらりと並ぶ
4. 「機械をうごかすための機械」が商品。各地の水道事業などで同社の商品が活躍している
5. 設置場所や利用目的に合わせて、完全オリジナル品のみを製造。設計時の打ち合わせが欠かせない
6. コントロールシステムにおけるタッチパネルの動作確認作業



# ET2010 (組込み総合技術展) に出展

組込み技術の専門展示会である「EmbeddedTechnology2010／組込み総合技術展」が12月1日(水)～3日(金)の3日間、パシフィコ横浜において開催され来場者は21,988人を数えました。

うちTOHOKUものづくりコリドーブースには3日間で約4,650名の方に来場いただきました。

今年で5回目の出展となる「TOHOKUものづくりコリドーパビリオン」は39企業・団体で構成され、当県からは、(有)エボテック、(株)イーアールアイ、(地独)岩手県工業技術センターの3社共同出展、(有)エボテック、(株)イーアールアイ、(株)ジェーエフピー、(株)ネットワーク21の計5ブース出展し、最新の技術・製品をPRしました。

各社から具体的な商談ができたという報告があり、今後の折衝の結果に期待が持たれます。

**1 Booth**

**(有)エボテック** 3社共同出展  
**(株)イーアールアイ**  
**(地独)岩手県工業技術センター**  
 動画圧縮標準規格H.264／AVC機器開発のためのFPGA組込み支援ツール(デコーダ)を展示しました。

**2 Booth**

**(有)エボテック**  
 GoogleAndroidでのデジタルサイネージ用表示装置実現デモや情報端末を用いた家庭向け情報表示試作実演展示しました。

**3 Booth**

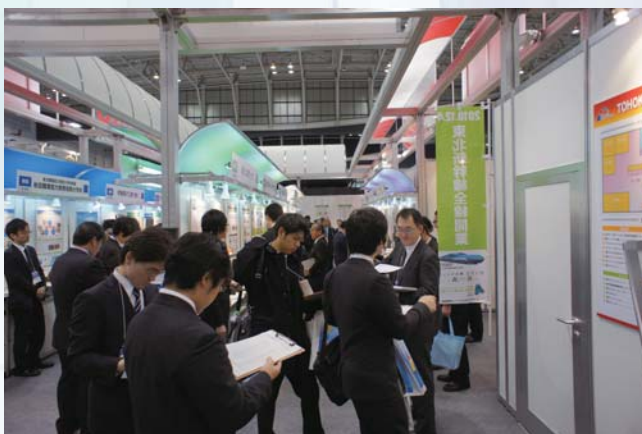
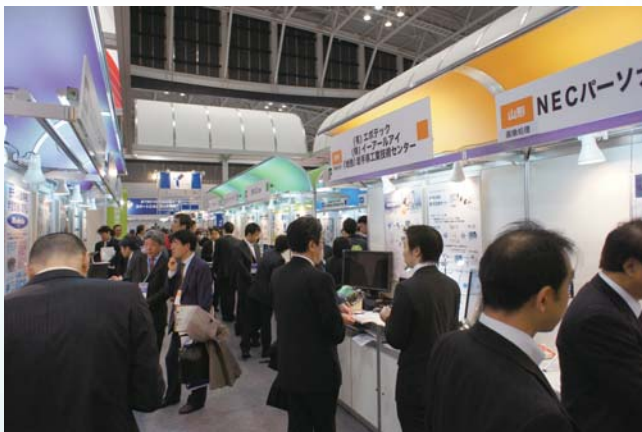
**(株)イーアールアイ**  
 エンジン情報を接続せずに急加速・急減速等をセンシングして、エコドライブを支援する「エコドライブ・アシストシステム」を出展しました。

**4 Booth**

**(株)ジェーエフピー**  
 要求仕様書を論理無矛盾に記述する為の支援ツール「SPECL-PERFECT」を出展しました。

**5 Booth**

**(株)ネットワーク21**  
 Android、iPhone上でのAR(拡張現実)アプリケーションを出展いたしました。



## SEMICON Japan2010

# セミコン・ジャパン2010に県内企業7社が出展

半導体製造装置・材料の世界最大規模の展示会「セミコン・ジャパン2010」が、12月1日(水)～3日(金)の3日間千葉市の幕張メッセで開催され、総来場者数は66,000人(昨年より2,500人増加)を数えました。

本県からは東北経済産業局の出展補助を受け、「いわて半導体関連産業集積促進協議会(I-SEP)」等の紹介と同協議会会員企業7社が最新の技術・製品をPRしました。

県内出展企業は右の7社です。  
 今後の折衝の結果に期待が持たれます。

出展企業

- (株)アイオー精密(花巻市)
- (株)アイカムス・ラボ(盛岡市)
- (株)倉元製作所(一関市)
- (株)小林精機(滝沢村)
- (株)千田精密工業(奥州市)
- (株)ティーアンドケー(花巻市)
- (株)アロン社(一関市)

# 地域を元気にする 起業家支援セミナー

昨今の厳しい経営環境において、「起業」は新事業・雇用の創出など地域の産業振興や大きな社会貢献に繋がると期待されています。

一方、起業家や創業後間もない方々にとって、国や県の施策を上手に活用すること、資金調達を円滑に行うことが事業成功のカギと言われます。

本セミナーでは、新たな事業に取り組む起業家、創業者、支援機関等の方々を対象に、起業支援に関する国の施策、融資制度、起業経験者による事例についての情報を提供します。

起業を目指す方、創業後間もない方、産業支援機関担当者の皆様の参加をお待ちしています。

**主催** 東北経済産業局  
いわて起業家サポーターネットワーク会議

**後援** (独)中小企業基盤整備機構東北支部  
日本政策金融公庫国民生活事業盛岡支店・一関支店

**日時** 平成22年2月26日(土)  
13:30~16:30

**会場** マリオス18F 188会議室  
(盛岡市盛岡駅西通2-9-1)

**対象** ・起業を目指す方 ・創業後間もない方  
・産業支援機関等担当者等

参加料 **無料**

定員 **100名**

本セミナーに関するお問い合わせ先

いわて起業家サポーターネットワーク会議事務局  
(財)いわて産業振興センター／人材・技術開発支援グループ

電話／ **019-631-3825** 〒020-0852 盛岡市飯岡新田3-35-2  
FAX／019-631-3830

一部を除き、申込書のついたリーフレットを今号に同封しております。同封されていない送付先の方で、参加したい場合は、上記までお問い合わせください。

## プログラム

13:30 - 13:50	起業支援に関する国の施策について 東北経済産業局地域経済部 産業支援課長 木村 研一
13:50 - 14:10	中小機構東北支部の経営支援について (独)中小企業基盤整備機構東北支部 経営支援部長 高橋 浩樹
14:10 - 14:40	起業・創業を支援する融資制度 「創業融資の判断ポイント」 (株)日本政策金融公庫仙台支店国民生活事業 こくきん創業支援センター仙台 所長 鈴木 孝
14:40 - 14:50	休憩
14:50 - 15:40	講演(起業体験事例) 「起業までの経緯、研究開発の秘訣」 (有)テクノ・キャスト 代表取締役 柴田 幸彦 (有)テクノ・キャスト：宮城県大崎市、1991年9月設立 歯科技工、生体模型製造
15:40 - 16:30	講演(起業体験事例) 「なぜ、この最悪の時期に起業したのか」 ～チャンスは自分で掴むもの～ (株)ジュークス 代表取締役社長 城内 治 (株)ジュークス：岩手県久慈市、2009年3月創立 電子部品製造・組立・検査等

## 第2回・商品化 プロデュース事業を開催しました

produce!

平成23年1月14日(金)、昨年11月に続き、2回目の「商品化プロデュース事業」を開催しました。今回は岩手県工業技術センター3階のホールで行われ、13の事業者(法人・個人)から参加がありました。

前回、食品や工芸品など、開発中の製品についての販売手法、パッケージのデザイン、販路開拓などについてアドバイスを受けた参加者の皆さんは、それぞれビジネスプランをブラッシュアップし、再度相談していました。

今回も岩手県産株株式会社、工業技術センターの担当者、当センターのコーディネーターが相談を受け、練り直されたプランをもとに、製品の価値を向上させるべく、アドバイスを行いました。

今回の相談会で、皆さんの製品が岩手を代表するような“逸品”に育つことを願っております。

製造業、サービス業などの皆さまから、製品の販売方法のほか、経営全般についてのご相談を、随時無料で承っております。「相談窓口」(TEL.019-631-3826)まで、お気軽にお問い合わせください。経験豊富なコーディネーターがアドバイスします。

# 「基本契約書を取り交わしている」78.3% (前年75.4%)

当センターでは、県内下請中小企業と親企業間の取引条件等の実態を把握するとともに、下請取引の適正化に資することを目的に、下請取引条件調査を実施した。

これによると、「基本契約書を取り交わしている」が78.3%と前年に比べ2.9ポイント増加したほか、「注文書を取り交わしている」が91.9%と前年に比べ1.2ポイント増加し、下請取引の改善傾向がうかがわれる。

また、代金の受取方法については「全額現金」、「現金・手形併用」、「全額手形」が、やや増加し、「全額ファクタリング」が減少していることがわかった。

## <調査について>

**調査対象:** 県内に事業所を置き、受注企業として登録している1,139企業

**回答企業:** 382社 (回収率33.5%)

**調査時点:** 調査時点:平成22年9月30日

※比率は小数点第二位を四捨五入したため、合計が100%にならない場合がある。

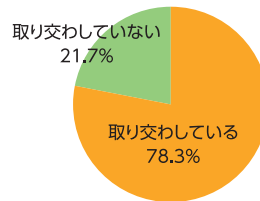
## 基本契約書の取り交わし

→書面取引改善(2.9ポイント増加)

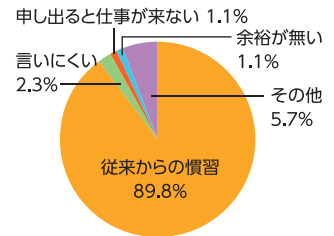
全業種では、基本契約書を「取り交わしている」が78.3% (前年75.4%)、「取り交わしていない」が21.7% (前年24.6%)となっている。

業種別割合にみると、電気機械器具、樹脂・ゴム、精密機械器具は「取り交わしている」が高く、それぞれ92.5%、87.2%、83.3%となっている。反対に、繊維製品は「取り交わしていない」が高く、48.1%であった。

基本契約書取り交わしの有無



取り交わしていない場合の理由



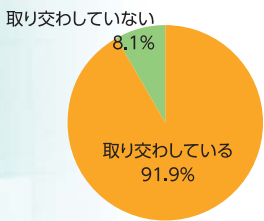
## 注文書の取り交わし

→書面取引改善(1.2ポイント増加)

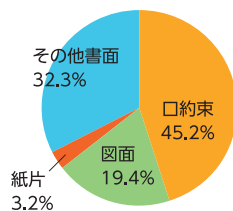
全業種では、注文書を「取り交わしている」が91.9% (前年90.7%)、「取り交わしていない」が8.1% (前年9.3%)となっている。

業種別割合にみると、電気機械器具、一般機械器具、樹脂・ゴムは「取り交わしている」が高く、それぞれ98.1%、97.8%、97.4%となっている。反対に、輸送用機械器具は「取り交わしていない」が高く、33.3%となっている。

注文書取り交わしの有無



取り交わしていない場合の代替



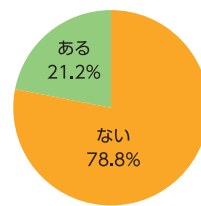
## 納品から支払日までの所要期間

→支払期間悪化(3.4ポイント増加)

全業種では、納品から支払日までの期間が60日を超えているものが「ある」は21.2% (前年17.8%)、「ない」は78.8% (前年82.2%)と、「ある」が増加している。

業種別割合にみると、精密機械器具で、納品から支払日までの期間が60日を超えているものが「ある」が33.3%と高い結果となっている。

納品から支払日までの期間が60日を超えている場合

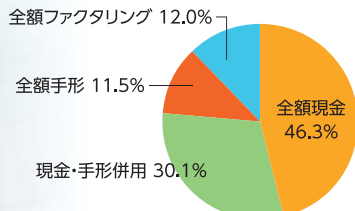


## 代金の受取方法

全業種では、「全額現金」46.3% (前年46.2%)、「現金・手形併用」30.1% (前年29.5%)、「全額ファクタリング」12.0% (前年13.4%)、「全額手形」11.5% (前年10.9%)となっている。

業種別割合にみると、輸送用機械器具、繊維製品、電気機械器具は「全額現金」が高く、鉄鋼・非鉄金属、金属製品は「現金・手形併用」が高い結果となっている。

代金受取方法



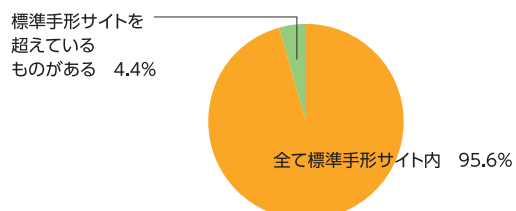
## 手形のサイト

→標準手形サイト好転(1.0ポイント増加)

全業種では、「全て標準手形サイト内(繊維業90日以内、その他の業種120日以内)」が95.6% (前年94.6%)、「標準手形サイトを超過しているものがある」が4.4% (前年5.4%)となっている。

業種別にみると、「標準サイトを超過しているものがある」は、電気機械器具、鉄鋼・非鉄金属、金属製品、その他、一般機械器具となっている。

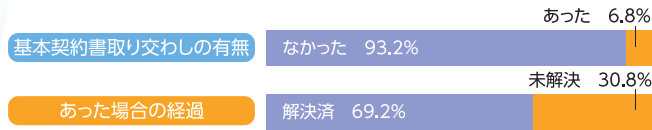
手形のサイト



# 最近1年間における、得意先との取引上トラブルの発生状況

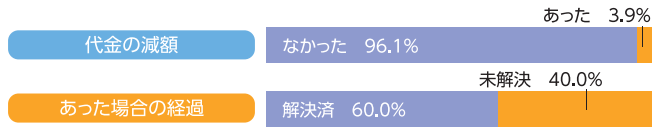
## 1 著しく低い代金 通常の対価に比し、著しく低い代金の設定→好転(0.3ポイント減少)

全業種では、著しく低い代金が「あった」が6.8%(前年7.1%)であり、「あった」(26企業)のうち解決済は、69.2%(18企業)となっている。  
業種別割合にみると、輸送用機械器具、繊維製品、その他で「あった」が高い。



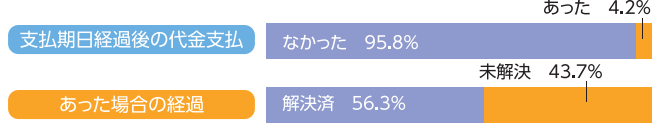
## 3 代金の減額 代金の減額→好転(2.1ポイント減少)

全業種では、代金の減額が「あった」が3.9%(前年6.0%)であり、「あった」(15企業)のうち、60.0%(9企業)が解決している。  
業種別割合にみると、その他、金属製品で「あった」が高い。



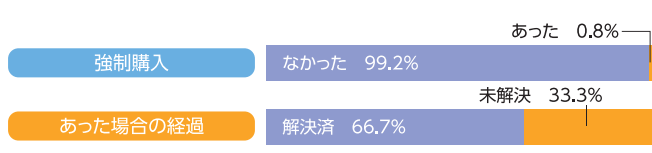
## 5 支払遅延 支払記述経過後の代金支払→悪化(0.1ポイント増加)

全業種では、支払遅延が「あった」が4.2%(前年4.1%)であり、「あった」(16企業)のうち、解決済は56.3%(9企業)にとどまっている。  
業種別割合にみると、その他、精密機械器具で「あった」が高い。



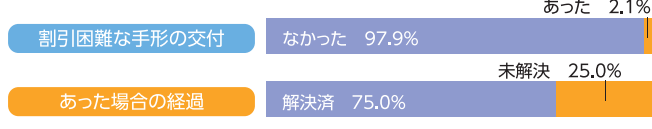
## 7 強制購入 強制購入→悪化(0.5ポイント増加)

全業種では、強制購入が「あった」が0.8%(前年0.3%)であり、「あった」(3企業)のうち、解決済は66.7%(2企業)となっている。



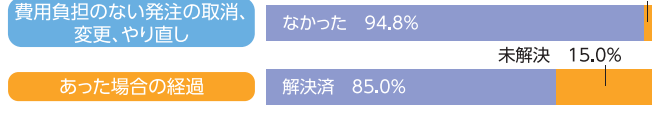
## 9 割引困難な手形の交付 割引困難な手形の交付→悪化(0.2ポイント増加)

全業種では、割引困難な手形の交付が「あった」が2.1%(前年1.9%)であり、「あった」(8企業)のうち、解決済は75.0%(6企業)となっている。  
業種別にみると、「あった」は、その他、電気機械器具、金属製品となっている。



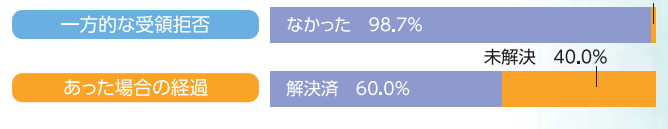
## 11 費用負担のない発注の取消、変更、やり直し 費用負担のない発注の取消、変更、やり直し →好転(1.4ポイント減少)

全業種では、発注側における費用負担のない発注の取消、変更、やり直しが「あった」は5.2%(前年6.6%)であり、「あった」(20企業)のうち85.0%(17企業)が解決済となっている。  
業種別割合にみると、繊維製品、精密機械器具で「あった」が高い。



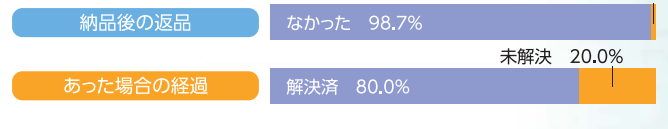
## 2 受領拒否 一方的な受領拒否→悪化(0.5ポイント増加)

全業種では、一方的な受領拒否は1.3%(前年0.8%)であり、「あった」(5企業)のうち、解決済は3企業となっている。  
業種別にみると、「あった」は、輸送用機械器具、精密機械器具、電気機械器具、その他、金属製品、となっている。



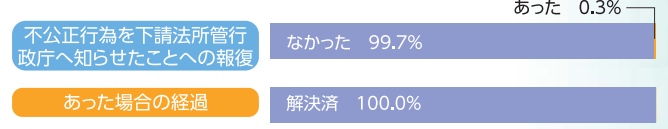
## 4 返品 納品後の返品→好転(0.1ポイント減少)

全業種では、返品が「あった」が1.3%(前年1.4%)であり、「あった」(5企業)のうち、解決済は80.0%(4企業)となっている。  
業種別にみると、「あった」は、鉄鋼・非鉄金属、金属製品、一般機械器具となっている。



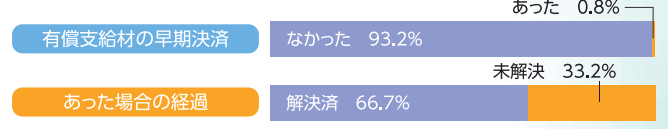
## 6 報復措置 不正行為を下請法所管行政庁へ知らせたことへの報復 →前年同様1件の違反事案があった

全業種で、報復措置が「あった」が0.3%(前年0.3%)であり、「あった」(1企業)は、解決済となっている。



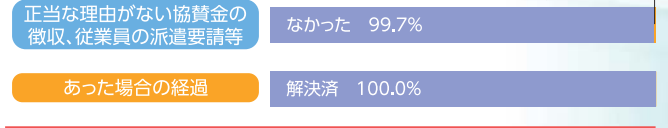
## 8 有償支給材の早期決済 有償支給材の早期決済→前年同様3件の違反事案があった

全業種では、有償支給材の早期決済が「あった」が0.8%(前年0.8%)であり、「あった」(3企業)のうち、解決済は66.7%(2企業)となっている。  
業種別にみると、「あった」は、金属製品、その他となっている。



## 10 正当な理由がなくしての協賛金の徴収、従業員の派遣要請等 正当な理由がない協賛金の徴収、従業員の派遣要請等 →好転(0.5ポイント減少)


全業種では、正当な理由がなくしての協賛金の徴収、従業員の派遣要請等が「あった」が0.3%(前年0.8%)であり、「あった」(1企業)は、解決済となっている。  
業種別にみると、「あった」は、その他となっている。



**調査の結果「下請代金法(下請代金支払遅延等防止法)」の違反事案が依然見受けられます。**

当センターには、「顧問弁護士への相談」のほか、裁判外紛争解決手続き(ADR)のための「下請かけこみ寺」の制度があります。得意先(親企業)との取引上のトラブルで困っていることがありましたらご相談ください。

**お問い合わせ先**  
TEL 019-631-3822 産業支援グループ



岩手県八幡平市

## 株式会社北館製麺

岩手のそば文化を伝え続けます

当社は当地に居を構えて60余年、「そば」にこだわりつづける企業です。現在はそばのほかにもうどんなどの乾麺や、半生麺など、さまざまな製品を製造しており、県内スーパーなどで販売されています。



2007年には「ISO22000」を取得。世界で通用する食品安全基準を採用し、自信を持ってご提供できる商品づくりを心がけています。

打ちたてのそばが楽しめる直営店「北の蕎麦屋（本店、カワトク店）」もよろしくお願ひします。

### 会社情報

代表者名	北館充史	従業員数	29名
事業内容	そば等、乾麺類の製造、販売	住所	〒028-7533 八幡平市叭田176番地1
		TEL	0195-72-2748
設立	昭和23年5月創業	FAX	0195-72-2132
資本金	5,000万円	URL	http://www.kitadate.co.jp/

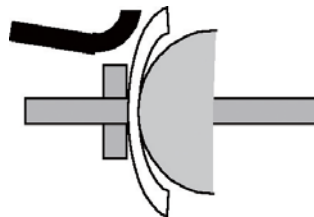
岩手県紫波町

## 森田製作株式会社

50年の歴史に裏打ちされた「技」があります

当社は各種機器・部品の製造を行っており、他品種生産で品質・納期で県内外から高い評価をいただいています。

旋盤、フライス盤からマシンングセンターに至るまで、豊富な設備を駆使し、お客様に満足いただける品を作り出しています。



機械プレスではなく「へら棒」で金属加工を行う「へら絞り」加工は、加工後の製品を長持ちさせることができます。当社技術者による加工技術で、高い精度をお約束します。

### 会社情報

代表者名	森田博英	従業員数	15名
事業内容	通信・船舶・工業用計器部品、各種機器、治工具の製作加工	住所	〒028-7301 紫波町桜町字本町川原4-1
		TEL	019-672-3412
設立	昭和33年10月創業	FAX	019-676-5808
資本金	500万円	URL	http://www.morita-ss.co.jp/

岩手県盛岡市

## アベイルエイド株式会社

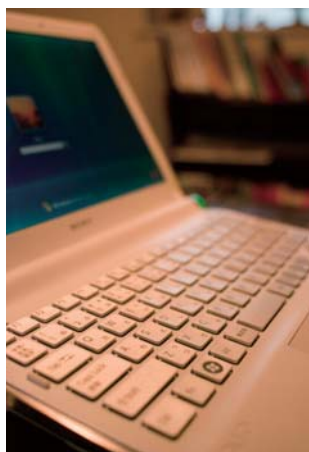
ネットワークのことなら当社にご相談ください

当社は企業内のパソコン周辺全般をサポートし、機器導入、企業内LAN構築など、ハード・ソフト両方に携わっています。

システムインテグレーション、ソフトウェア受託開発、サーバーレンタル、ホームページコンサルティングなど、コンピュータやインターネットに関することなら、なんでも当社にお任せください。

「Avail」(利益、効用)「Aid」(助ける、促進する)の社名通り、お客様にプラスとなるものを提供するよう心がけています。

奥州市江刺区に支社を設けております。県南の方もどうぞお気軽にお問い合わせください。



### 会社情報

代表者名	奥山健司	従業員数	11名
事業内容	各種ソフトウェア開発販売、LAN、WANシステム構築等	住所	〒020-0022 盛岡市大通3丁目2番7号鈴木ビル2F
		TEL	019-626-3941
設立	平成2年9月	FAX	019-626-3942
資本金	2,400万円	URL	http://www.aid.co.jp/

岩手県一関市

## 株式会社一般公害集配センター

3R (リユース・リデュース・リサイクル) を目指して



エコアクション21  
認証・登録番号 0004625

当社は岩手県南にて、一般廃棄物収集運搬業を行っているほか、廃プラスチック類や金属くず、廃油など産業廃棄物収集運搬業も手がけております。(岩手県・盛岡市・宮城県の収集運搬業許可取得)

また、発泡スチロールの中間処理のほか、平成21年には、紙くず、廃プラスチック類の中間処理の許可取得をしました。さらに平成22年にはエコアクション21の認証・登録をし、エコ活動に取り組んでおります。

環境循環型社会の機運が高まる昨今、当社の役割はますます大きくなるものと確信しております。廃棄物等につきましては、36年間のノウハウと実績ある当社にお任せください。

### 会社情報

代表者名	狩野勝彦	従業員数	22名
事業内容	一般・産業廃棄物収集運搬業、リサイクル事業 他	住所	〒021-0102 一関市萩荘字上本郷149-7
		TEL	0191-38-2355
設立	昭和52年7月	FAX	0191-38-2356
資本金	1,000万円	URL	http://www1a.biglobe.ne.jp/IKS/